

## 夜景サミット2025in台湾報告書（概要）

長崎市議会議員

木森俊也

長崎市議会議員

毎熊政直

### 1 訪問の目的

平成21年以降、夜景観光活性化に尽力する行政、民間企業が一堂に会する場として夜景サミットが開催され、長崎市は平成24年10月の夜景サミットにおいて、香港、モナコとともに「世界新三 大夜景」に認定され、令和3年11月にはモナコ、上海とともに再認定を果たした。

そこで、日本の夜景の素晴らしさ、美しさを伝えることだけでなく、国内外に向けた観光コンテンツとして認知を図るべく、これまで多くの反響を呼んだ過去開催に引き続き、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催による「夜景サミット2025in台湾」が開催されるため、長崎市においても「長崎夜景」の魅力、美しさなどをPRすべく、行政とともに市議会からも夜景サミットに参加することとした。

### 2 訪問期間 令和7年9月30日（火）～10月3日（金）（4日間）

### 3 訪問都市 台湾・台北市

### 4 行程

日時	時間	発・着	行 程
9/30 (火)	7：46 12：20 13：45 16：30	長崎駅発 博多空港発 台湾桃園空港着 ホテル着	かもめ8号 BR105便 専用車にてホテルへ移動
10/1 (水)	12：00～ 14：00 14：00～ 18：30		林安泰古厝民俗文物館、龍山寺を視察 夜景サミット
10/2 (木)	8：00～ 12：00 17：00～ 22：00		国立台湾大学、霞海城隍廟、迪化街を視察 夜景サミット エクスカーション
10/3 (金)	6：35 9：35 12：55 14：54 16：27	ホテル発 台北桃園空港発 博多空港着 博多駅発 長崎駅着	専用車 JX840便 リレーかもめ37号

## 5 概要

10月1日（水）

（1）12:00～14:00 林安泰古厝民俗文物館、龍山寺を視察

台北市で1987年に復元し、中国の伝統的な四合院民宅建築として160年以上の歴史がある林安泰古厝民俗文物館を視察した。その後、台北最古であり、最も格式が高く、仏教をはじめ道教や民間信仰など100以上の神様が祀られている寺院である龍山寺を視察した。



【林安泰古厝民俗文物館】



【龍山寺】

（2）14:00～14:15 夜景サミット 第一部 開会式・説明会

サミットの説明、主催者代表等の挨拶、日本側代表挨拶、参加者紹介が行われた



（3）14:20～15:30 第二部 日本の夜景紹介&事例発表

日本国内より、長崎市をはじめ、福岡県北九州市、神奈川県藤沢市、神奈川県横浜市、（株）東南植物楽園（沖縄県）、東京ドイツ村（千葉県）、御殿場高原時之栖（静岡県）、伊豆ぐらんぱる公園（静岡県）、ラグーナテンボス（愛知県）、あしかがフラーパーク（栃木県）の10団体が参加し、各団体より各都市、施設の夜景についてプレゼンテーションが行われた。



(4) 15:30~17:30 第三部 商談会&SNS商談会

台湾エージェントと、参加都市等との商談会が行われた（市議会は不参加）

(5) 17:30~18:50 第四部 懇親会

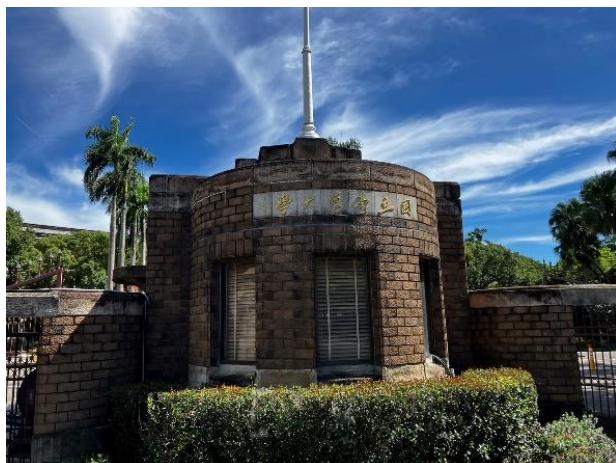
10月2日（木）

(1) 8:00~12:00 国立台湾大学、霞海城隍廟、迪化街を視察

国立台湾大学は台湾屈指の名門大学であり、前身は日本統治下の台湾において1928年に台湾帝国大学として設立され、1945年に現在の名称となった。6つのキャンパス、11学部が設けられ、3万人以上の学生が通っている。

霞海城隍廟は台湾で人気が高い迪化街の南端にある160年以上の歴史を持つ廟で、縁結びの神様が祭られている。

迪化街は布地、漢方薬、乾物、なまこ等の高級食材などが売られる問屋街で、日本統治期の建築物も多く見られた。



【国立台湾大学】



【霞海城隍廟】



【迪化街】

(2) 17:00~22:00 夜景サミット エクスカーション（ナイトツアー）

中正紀念堂は中華民国初代総統であった蒋介石を追悼する目的で1980年に建てられた。台北市中山南路にあり約25万m<sup>2</sup>という広い敷地の中にある。当時台北市内で最大の軍事エリアであったが、民主化の発展に伴い、思想が開放され、紀念堂前の広場は民主運動の集会場となった。西側にある大きな白亜の正門は「自由広場門」と呼ばれ、日が落ちるとライトアップされる。

この門をくぐった先にある広大な広場では、ランタンフェスティバルやライブなどさまざまなイベントも開催され、市民の憩いの場として親しまれている。



【中正記念堂】



【自由広場門】

### 陽明山から望む台北市の夜景

夕食会場として陽明山の山頂付近にあり台北の街を見下ろすことのできるレストランである「草山夜未眠」を訪れ、台北の夜景を鑑賞することができた。

